参考資料１

事　務　連　絡
平成 30 年 6 月 15 日

ＳＤＧｓ未来都市　御中

ＳＤＧｓ未来都市計画の策定について（依頼）

内閣府地方創生推進事務局

平素より、地方創生に向けた様々な取組に御尽力をいただき、御礼申し上げます。

ＳＤＧｓ未来都市に選定された都市は、国とも連携しながら提案内容を更に具体化し、３年間の計画を策定し、実施することとしております。

つきましては、貴団体において「ＳＤＧｓ未来都市計画」の策定を依頼しますので、下記御参照の上、必要書類を期日までに提出くださいますようお願い申し上げます。

１．提出書類
（１）ＳＤＧｓ未来都市計画（素案）
（２）「自治体ＳＤＧｓ推進評価・調査検討会」委員コメントへの対応表

２．策定要領
添付資料１～３のとおり。

３．提出先・期限
提出書類は、次に掲げるとおり提出すること。
（１）提出先
電子メールにて、下記まで提出すること。
内閣府地方創生推進事務局　g.Local-governments-SDGs@cao.go.jp
（２）提出期限
平成 30 年 7 月 20 日（金）17：00

４．添付資料
（１）ＳＤＧｓ未来都市計画策定作業の流れについて
（２）ＳＤＧｓ未来都市計画フォーマット
（３）ＳＤＧｓ未来都市計画策定要領
（４）「自治体ＳＤＧｓ推進評価・調査検討会」委員コメントへの対応表
（５）ＳＤＧｓ未来都市担当者一覧

５．今後のスケジュール

７月 20 日　　計画素案の提出締切

～８月中旬　自治体ＳＤＧｓ評価手法等検討会（仮称）及び
　　自治体ＳＤＧｓ推進関係省庁タスクフォースからの意見送付

～８月下旬　上記意見を反映した修正案の提出

８月末　　計画策定、公表

６．問合せ先

問い合わせ先につきましては、添付の「ＳＤＧｓ未来都市担当者一覧」を御覧ください。

ＳＤＧｓ未来都市計画　策定作業の流れについて

・ＳＤＧｓ未来都市に選定された都市（以下、「ＳＤＧｓ未来都市」という。）は、国とも連携しながら、提案内容をさらに具体化し、３年間のＳＤＧｓ未来都市計画（以下、「計画」という。）を策定する。

・ＳＤＧｓ未来都市においては、下記参照の上、計画の策定をお願いしたい。

・なお、計画の進捗管理、改定方法等については、別途連絡する。

１．計画素案の作成

（実施主体）ＳＤＧｓ未来都市

（期　　間）平成30年６月15日（金）～７月20日（金）

（作業概要）提案書類に示した内容をもとに、取組の具体的な内容等を、ＳＤＧｓ未来都市計画フォーマット（以下、「フォーマット」という。）の構成に沿って記載し、計画素案を作成する。
作成に当たっては、ＳＤＧｓ未来都市計画策定要領（以下、「策定要領」という。）を参考とするものとする。

（留意事項）計画素案の作成に当たっては、自治体ＳＤＧｓ推進評価・調査検討会から示された「選定都市へのヒアリングを踏まえた委員コメント例」（以下、「委員コメント」という。）への対応が反映された形での作成をお願いする。
なお、委員コメントへの対応状況については、「委員コメントへの対応表」に記載し、素案に添付する。

２．計画素案への意見送付

（実施主体）自治体ＳＤＧｓ評価手法等検討会（仮称）及び
自治体ＳＤＧｓ推進関係省庁タスクフォース

（期　　間）平成30年７月20日（金）～８月10日（金）

（作業概要）ＳＤＧｓ未来都市から提出された計画素案に対して、自治体ＳＤＧｓ評価手法等検討会（仮称）及び自治体ＳＤＧｓ推進関係省庁タスクフォースから、改善点、検討事項等の意見を提出する。なお、自治体ＳＤＧｓ評価手法等検討会（仮称）及び自治体ＳＤＧｓ推進関係省庁タスクフォースからの意見は、内閣府にて取りまとめ、各ＳＤＧｓ未来都市へ個別に送付する。

３．意見を踏まえた計画素案の修正

（実施主体）ＳＤＧｓ未来都市

（期　　間）平成30年７月20日（金）～８月下旬

（作業概要）上記２．の意見を踏まえ計画素案の修正案を作成する。なお、意見への対応状況については、「意見への対応表」に記載し、修正案に添付する。

４．計画素案、計画素案修正案への修正

（実施主体）内閣府

（期　　間）平成30年７月20日（金）～８月下旬

（作業概要）ＳＤＧｓ未来都市から提出された計画素案につき、選定時の提案内容と齟齬がないか内閣府において確認を行う。相当程度の齟齬が生じている場合には、各ＳＤＧｓ未来都市と協議の上、計画素案の修正を助言する。なお、上記２．の意見への対応のために生じる齟齬は、この限りでない。

５．計画の公表

（実施主体）内閣府、ＳＤＧｓ未来都市

（期　　間）平成30年８月下旬～

（作業概要）各ＳＤＧｓ未来都市から提出され、４．の修正等が終了した計画について、内閣府ホームページにおいて公開する。なお、各ＳＤＧｓ未来都市においても、ホームページ等で積極的に公表することが望まれる。

自治体名　SDGs 未来都市計画

自治体名

＜ 目次 ＞

1 全体計画

1．1 将来ビジョン

（1）地域の実態……2
（2）2030 年のあるべき姿……X
（3）2030 年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール……X

1．2 自治体SDGsの推進に資する取組

（1）自治体SDGsの推進に資する取組の概要……X
（2）自治体SDGsの情報発信・普及啓発策……X

1．3 推進体制

（1）各種計画への反映状況……X
（2）行政体内部の執行体制……X
（3）ステークホルダーとの連携……X

2 自治体SDGsモデル事業

（1）課題・目標設定と取組の概要……X
（2）三側面の取組……X
（3）三側面をつなぐ統合的取組……X
（4）ステークホルダーとの連携……X
（5）自律的好循環……X
（6）普及展開策……X
（7）スケジュール……X

※改ページ

１．全体計画

１．１　将来ビジョン

（１）地域の実態

（地域特性）

　○○○

（２）2030 年のあるべき姿

【2030 年のあるべき姿】

　○○○

（３）2030 年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール

（経済）

ゴール、 ターゲット番号	KPI	
アイコンをここに貼り付け　〇，〇	指標：〇〇〇〇	
	現在（〇年〇月）： 〇〇〇〇	2030 年： 〇〇〇〇
アイコンをここに貼り付け　〇，〇	指標：〇〇〇〇	
	現在（〇年〇月）： 〇〇〇〇	2030 年： 〇〇〇〇

〇〇〇〇

（環境）

ゴール、 ターゲット番号	KPI	
アイコンをここに貼り付け　〇，〇	指標：〇〇〇〇	
	現在（〇年〇月）： 〇〇〇〇	2030 年： 〇〇〇〇
アイコンをここに貼り付け　〇，〇	指標：〇〇〇〇	
	現在（〇年〇月）： 〇〇〇〇	2030 年： 〇〇〇〇

　〇〇〇〇

１．２　自治体SDGsの推進に資する取組

（１）自治体SDGsの推進に資する取組の概要（2018～2020 年度の取組）

① ○○○○○

ゴール、ターゲット番号	KPI	
アイコンをここに貼り付け　○，○	指標：○○○○	
	現在（○年○月）： ○○○○	2020 年： ○○○○

○○○○○

（２）自治体 SDGsの情報発信・普及啓発策

（域内向け）

○○○

１．３　推進体制

（１）各種計画への反映状況

【○○○○】
　○○○○

（２）行政体内部の執行体制

○○○

（３）ステークホルダーとの連携

（域内の連携）

○○○

2. 自治体 SDGs モデル事業

（1）課題・目標設定と取組の概要

自治体SDGsモデル事業名：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

（２）三側面の取組

① 経済面の取組

ゴール、 ターゲット番号	KPI	
アイコンをここに貼り付け　〇，〇	指標：〇〇〇〇	
	現在（〇年〇月）： 〇〇〇〇	2020 年： 〇〇〇〇

①－１　〇〇〇〇

〇〇〇〇

② 社会面の取組

ゴール、 ターゲット番号	KPI	
アイコンをここに貼り付け　〇，〇	指標：〇〇〇〇	
	現在（〇年〇月）： 〇〇〇〇	2020 年： 〇〇〇〇

②－1　〇〇〇〇

〇〇〇〇

③ 環境面の取組

ゴール、 ターゲット番号	KPI	
アイコンをここに貼り付け　〇，〇	指標：〇〇〇〇	
	現在（〇年〇月）： 〇〇〇〇	2020 年： 〇〇〇〇

③－1　〇〇〇〇

〇〇〇〇

（３）三側面をつなぐ統合的取組の概要

統合的取組の事業名：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

　〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

② 三側面をつなぐ統合的取組による相乗効果（新たに創出される価値）

■ 経済⇔環境

【経済→環境】

KPI	
指標：〇〇〇〇	
現在（〇年〇月）： 〇〇〇〇	2020 年： 〇〇〇〇

〇〇〇〇

■ 経済⇔社会

【経済→社会】

KPI	
指標：〇〇〇〇	
現在（〇年〇月）： 〇〇〇〇	2020 年： 〇〇〇〇

〇〇〇〇

■ 社会⇔環境

【社会→環境】

KPI	
指標：〇〇〇〇	
現在（〇年〇月）： 〇〇〇〇	2020 年： 〇〇〇〇

〇〇〇〇

（４）ステークホルダーとの連携

団体・組織名等	モデル事業における位置付け・役割
○○○○	○○○○

※改ページ

（５）自律的好循環

（事業スキーム）

○○○

（６）普及展開策

　○○○

（7）スケジュール

	取組名	2018 年度									2019 年度	2020 年度
		7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月		
統合	○○○○											
経済	○○○○											
社会	○○○○											
環境	○○○○											

自治体名　SDGs 未来都市計画

平成 30 年〇月　第一版 策定

策定要領

自治体名　SDGs 未来都市計画

計画のサブタイトル等がある場合は

ここに記載することが出来ます

自治体名

１．はじめに

SDGs 未来都市に選定された都市は、国とも連携しながら提案内容を更に具体化し、３年間の計画を策定し、実施することとしております。

SDGs 未来都市に選定された都市は、この策定要領を熟読し、記載事項を理解した上で、SDGs未来都市計画（以下、「計画」という。）を策定してください。

計画策定に当たって、不明点等があれば、下記の連絡先までお問い合わせください。

【問い合わせ先】
内閣府地方創生推進事務局
E-mail：g.Local-governments-SDGs@cao.go.jp
電話：03-5510-2175

２．基本事項

- 計画策定の流れは、平成 30 年６月 15 日付事務連絡「SDGs未来都市計画の策定について（依頼）」の添付資料（１）「SDGs未来都市計画策定作業の流れ」を御参照ください。
- 計画は、「１　全体計画」と、「２　自治体 SDGs モデル事業」（または「２　特に注力する先導的取組」）の２章構成になります。
- 「１　全体計画」は SDGs 未来都市に選定された全都市が作成対象、「２　自治体 SDGs モデル事業」（または「２　特に注力する先導的取組」）は自治体 SDGs モデル事業選定都市が作成対象（それ以外の都市は任意）です。
- 計画素案の作成に当たっては、自治体SDGs推進評価・調査検討会から示された「選定都市へのヒアリングを踏まえた委員コメント例」（以下、「委員コメント」という。）を踏まえて作成してください。なお、委員コメントへの対応状況については、「委員コメントへの対応表」に記載し、素案に添付して提出してください。

【提案様式と記載事項の対照表】

- 計画は、提案様式に示した内容をもとに、更に取組の具体的な内容等をとりまとめるものです。但し、計画は提案様式から下記の通り構成を変更している点に留意してください。
- また、下記の「主な変更点」の項目についても、策定要領に示す留意事項、求められる記載事項等を確認し、提案書類から変更すべき点については変更をお願いします。

	提案様式（作成済）	計画（今回作成）	主な変更点
全都市が作成対象	1．全体計画	1．全体計画	
	①将来ビジョン	①将来ビジョン	
	(1) 地域の実態	(1) 地域の実態	
	(2) 2030年のあるべき姿	(2) 2030年のあるべき姿	
	(3) 優先的に取り上げるゴール	(3) 2030年のあるべき姿に向けた優先的なゴール	新たに2030年に向けたKPIを設定
	②自治体SDGsの推進に資する取組	②自治体SDGsの推進に資する取組	
	(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の概要	(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の概要	新たに2020年に向けたKPIを設定
	(2) 情報発信・普及啓発、自治体SDGsモデル事業の普及展開	(2) 自治体SDGsの情報発信・普及啓発策	提案様式の「自治体SDGsモデル事業の普及展開」部分は計画の2.(6)に移行
	③自治体SDGsの取組実施可能性	―	計画の1.③(1)に移行
	(1) 各種計画への反映	―	
	④推進体制	③推進体制	
	―	(1) 各種計画への反映状況	
	(1) 行政体内部の執行体制	(2) 行政体内部の執行体制	
	(2) 域内の連携	(3) ステークホルダーとの連携	
	(3) 自治体間の連携（国内）	―	計画の1.③(3)に統合
	(4) 国際的な連携	―	計画の1.③(3)に統合
モデル事業選定都市が作成対象（モデル事業以外の都市は任意）	2．自治体SDGsモデル事業	2．自治体SDGsモデル事業	
	(1) 課題・目標設定と取組の概要	(1) 課題・目標設定と取組の概要	
	(2) 三側面の取組	(2) 三側面の取組	
	(3) 三側面をつなぐ統合的取組	(3) 三側面をつなぐ統合的取組	
	(4) 自律的好循環	(4) 自律的好循環	事業スキーム図を追加
	(5) 多様なステークホルダーとの連携	(5) 多様なステークホルダーとの連携	記載の具体化
	(6) 資金スキーム	―	
	―	(6) 普及展開策	
	(7) 取組全体のスケジュール	(7) スケジュール	新たに2018年度の四半期別計画を記載

３. 留意事項

【文量について】

- 簡潔で読みやすい計画となるよう意識し、**全体で 40 頁以内を目安** に作成してください。
- 冗長な記載とならないよう、必要な内容を簡潔に記載してください。
- 一部の項目については、頁数の目安を示しております。
- 優先順位の低い内容については、本編ではなく参考資料として添付してください。参考資料は、頁数の目安（40 頁以内）に含めませんが、必要なものを厳選して添付するようにしてください。

【体裁等について】

- 文字は注記、解説、表中の記述等を除き原則として 11 ポイント以上の大きさとしてください。
- 文章の語尾は「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一してください。
- 改ページの位置は変更しないでください。
- 必要に応じ、図や画像を使用して作成してください。
- 必要に応じ、客観的、定量的なデータを記載してください。
- 地域固有の事情の説明等で文章が長くなる場合については、必要に応じ、「解説」として各記載欄の末尾に付記してください。

【その他】

- 選定時の提案内容と相当程度の変更が生じる計画とすることはできません。ただし、自治体SDGs推進評価・調査検討会や自治体SDGs推進関係省庁タスクフォース等からの助言等への対応のために生じる修正は、この限りではありません。
- 今回策定いただく計画に基づき、各都市の取組状況について、進捗評価を行う予定であることをご承知おきください。

＜ 目次 ＞

1 全体計画

1．1 将来ビジョン

（1）地域の実態……2
（2）2030 年のあるべき姿……X
（3）2030 年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール……X

1．2 自治体SDGsの推進に資する取組

（1）自治体SDGsの推進に資する取組の概要……X
（2）自治体SDGsの情報発信・普及啓発策……X

1．3 推進体制

（1）各種計画への反映状況……X
（2）行政体内部の執行体制……X
（3）ステークホルダーとの連携……X

2 自治体SDGsモデル事業

（1）課題・目標設定と取組の概要……X
（2）三側面の取組……X
（3）三側面をつなぐ統合的取組……X
（4）ステークホルダーとの連携……X
（5）自律的好循環……X
（6）普及展開策……X
（7）スケジュール……X

※改ページ

1．全体計画

1．1　将来ビジョン

（1）地域の実態

- 地域特性、今後取り組む課題等について、**計 4 頁以内を目安**に記載してください。
- 地域特性については、地理的条件、人口動態、産業構造、地域資源等について記載してください。
- 既存の取組等に関する記載は、必要最小限に留めてください。

（地域特性）

○○○

（2）2030 年のあるべき姿

- 2030 年のあるべき姿（将来像）を、**計 2 頁以内を目安**に記載してください。
- 抽象的な概念に留まらず、中長期の視点から持続可能なまちの姿を、様々な要素（例：都市像や市民生活、経済・社会・環境面、ガバナンスやステークホルダーとの連携等）を踏まえて、具体的に記載してください。
- あるべき姿を構成する様々な要素の説明については、箇条書きと概要説明を基本としてください。（下記記載例参照）

【2030 年のあるべき姿】

○○○

（3）2030 年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール

- 2030 年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲットを、経済・社会・環境のそれぞれについて記載してください。
- 各ゴール、ターゲットについて、KPI を設定、記載してください。
- また、記載したゴール、ターゲット及びKPIについて、理由を記載してください。
- 1 つのゴール、ターゲットに対して複数の KPI を設定したり、複数のゴール、ターゲットに対して共通の KPI を設定しても構いません。
- KPIの目標年次は 2030 年を目安としますが、既に策定済みの総合計画、環境基本計画等において、中長期的目標の設定がある場合は、それを引用しても構いません。また、KPI を、今後新たに検討、策定する予定がある場合は、現段階では暫定的な目標設定でも構いません。

（経済）

ゴール、ターゲット番号	KPI	
アイコンをここに貼り付け ○，○	指標：○○○○	
	現在（○年○月）： ○○○○	2030 年： ○○○○
アイコンをここに貼り付け ○，○	指標：○○○○	
	現在（○年○月）： ○○○○	2030 年： ○○○○

○○○○

（社会）

ゴール、 ターゲット番号	KPI	
アイコンをここに貼り付け　〇，〇	指標：〇〇〇〇	
	現在（〇年〇月）： 〇〇〇〇	2030 年： 〇〇〇〇
アイコンをここに貼り付け　〇，〇	指標：〇〇〇〇	
	現在（〇年〇月）： 〇〇〇〇	2030 年： 〇〇〇〇

〇〇〇〇

※記載例

（環境）

ゴール、ターゲット番号	KPI	
7，1	指標：再生可能エネルギー導入量	
	現在（〇年〇月）：〇〇〇〇	2030 年：〇〇〇〇

〇〇〇〇や〇〇〇〇といった地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入を進め、〇〇〇〇という 2030 年のあるべき姿の実現を図る。

※1 つのゴール、ターゲットに対して複数の KPI を設定、または、複数のゴール、ターゲットに対して共通の KPI を設定する際の記載例

ゴール、ターゲット番号	KPI	
アイコンをここに貼り付け 〇，〇	指標：〇〇〇〇	
	現在（〇年〇月）：〇〇〇〇	2030 年：〇〇〇〇
	指標：〇〇〇〇	
	現在（〇年〇月）：〇〇〇〇	2030 年：〇〇〇〇

ゴール、ターゲット番号	KPI	
アイコンをここに貼り付け 〇，〇 アイコンをここに貼り付け 〇，〇	指標：〇〇〇〇	
	現在（〇年〇月）：〇〇〇〇	2030 年：〇〇〇〇

※改ページ

１．２　自治体SDGsの推進に資する取組

（１）自治体SDGsの推進に資する取組の概要（2018～2020 年度の取組）

- 2030 年のあるべき姿の実現、及び、優先的に取り上げるゴール、ターゲットの達成に向けて、今後3年間に進める取組のうち地域の象徴的な取組の概要について、記載してください。
- 各取組について、関連するゴール、ターゲット及び 2020 年のKPIを記載してください。各取組は、前節で記載した優先的なゴール等の達成に資する取組となっていることを確認してください。
- １つの取組に対して、複数のゴール、ターゲット及びKPIを設定しても構いません。
- KPIの目標年次は 2020 年を目安としますが、既に策定済みの 2020 年頃を目標年次としたKPIがある場合は、それを引用しても構いません。また、KPIを、今後新たに検討、策定する予定がある場合は、現段階では暫定的な目標設定でも構いません。

① ○○○○○

ゴール、ターゲット番号	KPI	
アイコンをここに貼り付け　○，○	指標：○○○○	
	現在（○年○月）： ○○○○	2020 年： ○○○○

○○○○○

③ ○○○○○

ゴール、 ターゲット番号	KPI	
アイコンをここに貼り付け ○, ○	指標：○○○○	
	現在（○年○月）： ○○○○	2020 年： ○○○○

　○○○○○

（２）自治体 SDGsの情報発信・普及啓発策

- 自治体 SDGs の情報発信・普及啓発策を、域内向け、域外向けに分類して記載してください。
- また、海外向けの情報発信に取り組む場合は、それも記載してください。

（域内向け）

○○○

１．３　推進体制

（１）各種計画への反映状況

- 総合計画、地方版総合戦略、環境基本計画、その他の各種計画へのSDGsの反映状況及び反映予定について、記載してください。
- 反映する内容（例：SDGs の体系に沿って施策等を整理、冒頭文に SDGs を明記等）と、反映状況（反映済み、あるいは反映予定の場合はその時期等）を明記してください。

【〇〇〇〇】
　〇〇〇〇

（２）行政体内部の執行体制

- 自治体SDGsの推進のための行政体内部の執行体制について、概要及び体制図を記載してください。
- 構成員、役割・責任分担、意思決定プロセス等について、明記してください。

〇〇〇

（３）ステークホルダーとの連携

- ステークホルダーとの連携を、域内の主体（住民、企業・金融機関、教育・研究機関、NPO等）、国内の自治体に分類して、記載してください。
- また、海外の主体等との連携に取り組む場合は、それも記載してください。
- 具体的な連携相手の名称及び連携内容が決まっている場合は、詳細を記載してください。

（域内の連携）

○○○

- 「2. 自治体 SDGs モデル事業」は、自治体 SDGs モデル事業選定都市（10 都市）は作成必須とし、それ以外の都市は任意作成とします。
- 任意で作成した都市に対しても、有識者検討会や自治体SDGs推進関係省庁タスクフォース等からの助言を行えるよう調整予定です。

2. 自治体 SDGs モデル事業

任意で作成する都市については、「特に注力する先導的取組」と題名を変更してください。

（1）課題・目標設定と取組の概要

- 自治体 SDGs モデル事業名と、その取組の概要を記載してください。
- ここでいう「自治体 SDGs モデル事業」とは、「統合的取組」ではなく、「経済・環境・社会の三側面の取組」と「統合的取組」のパッケージ全体を指します。

自治体SDGsモデル事業名：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（２）三側面の取組

- 経済・社会・環境面のそれぞれの取組概要と、KPI、関連するゴール、ターゲットを記載してください。
- ここで設定する KPI は、「2030 年のあるべき姿に向けた優先的なゴール」で掲げた KPI の達成に繋がることを意識したものを設定してください。

① 経済面の取組

ゴール、ターゲット番号	KPI	
アイコンをここに貼り付け　〇，〇	指標：〇〇〇〇	
	現在（〇年〇月）：〇〇〇〇	2020 年：〇〇〇〇

①－１　〇〇〇〇

〇〇〇〇

② 社会面の取組

ゴール、 ターゲット番号	KPI	
アイコンをここに貼り付け　〇，〇	指標：〇〇〇〇	
	現在（〇年〇月）： 〇〇〇〇	2020 年： 〇〇〇〇

②－1　〇〇〇〇

〇〇〇〇

③ 環境面の取組

ゴール、 ターゲット番号	KPI	
アイコンをここに貼り付け　〇，〇	指標：〇〇〇〇	
	現在（〇年〇月）： 〇〇〇〇	2020 年： 〇〇〇〇

③－1　〇〇〇〇

〇〇〇〇

（３）三側面をつなぐ統合的取組の概要

- 三側面をつなぐ統合的取組の事業名とその概要を記載してください。
- ここでは、**経済・社会・環境面の取組を統合し、相乗効果を発揮することを可能とする取組**を記載するものであり、経済・社会・環境面の取組を再掲・再分類しただけの取組は該当しません。

統合的取組の事業名：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

② 三側面をつなぐ統合的取組による相乗効果（新たに創出される価値）

- 三側面をつなぐ統合的取組によりもたらされる相乗効果について、KPI 及びその概要を記載してください。
- ここで設定する KPI は、「2030 年のあるべき姿に向けた優先的なゴール」で掲げた KPI の達成に繋がることを意識したものを設定してください。

■ 経済⇔環境

【経済→環境】

KPI	
指標：〇〇〇〇	
現在（〇年〇月）： 〇〇〇〇	2020 年： 〇〇〇〇

〇〇〇〇

【環境→経済】

KPI	
指標：〇〇〇〇	
現在（〇年〇月）： 〇〇〇〇	2020 年： 〇〇〇〇

　〇〇〇〇

■ 経済⇔社会

【経済→社会】

KPI	
指標：〇〇〇〇	
現在（〇年〇月）： 〇〇〇〇	2020 年： 〇〇〇〇

〇〇〇〇

■ 社会⇔環境

【社会→環境】

KPI	
指標：〇〇〇〇	
現在（〇年〇月）： 〇〇〇〇	2020 年： 〇〇〇〇

〇〇〇〇

（４）ステークホルダーとの連携

- 連携する団体・組織名と、モデル事業における位置付け・役割を可能な限り具体的に記載してください。
- 連携する団体・組織と調整中の理由により固有名詞等を記載することが困難な場合は、団体概要（例：民間企業、一般社団法人等）に留めて構いません。

団体・組織名等	モデル事業における位置付け・役割
○○○○	○○○○

※改ページ

（５）自律的好循環

- モデル事業の事業スキームの概要及びスキーム図を記載してください。
- 併せて、将来的な自走に向けた取組内容を記載してください。
  （例：一般社団法人を設立し、企業との連携等により自主財源を確保等）

（事業スキーム）

○○○

（６）普及展開策

- モデル事業の域内及び域外への普及展開策について、モデル事業の有する普及展開性（類似の課題、資源を持つ地域や、展開できる要素、技術等）を踏まえて記載してください。
- 取組の内容が、これまでの記載内容と一部重複する場合は、「再掲」と記述し、同じ内容を記載しても構いません。

○○○

（7）スケジュール

- モデル事業（三側面の取組及び統合的取組）のスケジュールを記載してください。
- どの時期に何が達成されるか（例：〇年〇月までに拠点整備、〇年〇月までに人材育成プログラム開発等）がわかるよう具体的に記載してください。
- 現段階では、2019～2020 年のスケジュールはおおまかな予定で構いませんが、各年度の進捗評価の際に、次年度のスケジュールを詳細に更新していただく予定です。

	取組名	2018 年度									2019 年度	2020 年度
		7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月		
統合	〇〇〇〇											
経済	〇〇〇〇											
社会	〇〇〇〇											
環境	〇〇〇〇											

※記載例

	取組名	2018 年度									2019 年度	2020 年度
		7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月		
統合	○○○○事業	事業計画の策定			○○○○の整備			完成	試験運用		○○○○の本格運用	
					○○○○の普及展開			○○○○と連携した普及展開			○○○○による改善の検討	○○○○の普及展開
経済	①－1 ○○○○の取組	協議会の発足			○○○○の実施						○○○○と連携した取組推進	
		○○計画の策定			事業者募集	○○の企画・準備			○○イベント実施		○○○○による改善の検討	○○○○の普及展開

自治体名　SDGs 未来都市計画

平成 30 年〇月　第一版 策定

「自治体SDGs推進評価・調査検討会」委員コメントへの対応表

都市名：〇〇市

委員コメント	コメントへの対応状況
・〇〇〇〇の取組においては、▲▲▲▲の視点や、×××× といったステークホルダーの巻き込みが必要と考える。 ・今後、◆◆◆◆について、より深い理解を期待したい。 ・□□□□などの地域資源をもとに、●●●●といった試みを検討することが望ましい。	・〇〇〇〇の取組においては、▲▲▲▲の視点を取り入れ、××××や▽▽▽▽といったステークホルダーの連携していくことを計画に明記した。（〇～〇頁参照） ・◆◆◆◆について理解を深めるため、◆◆◆◆をテーマとしたシンポジウムを開催することを計画に明記した。（〇頁参照） ・□□□□などの地域資源を活かした●●●●の取組については、計画への反映は困難であるが、今後平成30年10月までに関係者と協議する方向で現在調整を進めている。

・委員からのコメントについて、対応状況の概要を記載し、計画の該当箇所を明示すること。
・現時点で計画への反映が困難な場合には、理由と対応状況について記載すること。

選定都市へのヒアリングを踏まえた委員コメント例

No.	提案者名	講評案
1	北海道	・広域自治体である道として、取組を絞った提案は興味深いものであった。今後は、包括性及び新規性を持って道内の自治体との連携、組織化を進めることが重要と考える。 ・モデル事業に関しては、SDGsという大きな目標に比べるとサイクルシフトという提案は規模が小さい印象であり、SDGsの取組の全体像を示すとともに、より多様かつ規模の大きな提案となることを望む。
2	北海道札幌市	・札幌市の既存の取組である低炭素社会の実現を軸とした具体的な事業提案であり、実現性は高いと感じる。その一方で、SDGsの推進という観点からは、省エネという環境の側面のみならず、社会及び経済面の取組についても検討いただき、新規性があり、かつ、統合的な提案を期待している。 ・例えば、シュタットベルケ型の地域エネルギー主体の検討を行うなど、個別のエネルギー、まちづくり関連事業がモデル事業の採択によってどのように促進されるかも具体的に提案してほしい。
3	北海道ニセコ町	・事業が具体的であり、SDGsの本質を良く理解した、自律的好循環の達成が期待されるモデル事業の提案であった。 ・ビジョンをしっかりと持ち、より意欲的な目標を立てることが期待される。また、モデル事業と住民自治や経済活性化とのつながりが可視化されると、より良い事業となるのではないか。
4	北海道下川町	・モデル事業の提案につき、社会・経済分野では実現性、先導性、包摂性ともに高い水準の検討であり、分野間の相乗効果もよく議論された提案であった。 ・「コンセプトアライアンス」という考え方は、まさにSDGs達成に向けた方向性と合致するものであり、今後の展開に期待したい。 ・提案の中では、経済面でのドライバーを強化し、補助金が終了した後の自立体制について、今後検討を深めてほしい。
5	宮城県東松島市	・東松島市は自然環境や住民組織等、これまでの取組で培った多くの資産があり、復興への尽力に敬意を表したい。HOPEを始めとしてポテンシャルの高い地域特性があると考えており、今後SDGsの概念についても、より深い理解を期待したい。 ・モデル事業については、新規性及び具体性の観点から更なる検討を期待したい。例えば、地域新電力利用の戦略的効果及び意味についても明示することが望ましい。
6	秋田県仙北市	・仙北市の抱える人口減少や高齢化などの特徴的な課題を元に、課題解決のための独自性のある事業提案を行う可能性が見られた。今後は、仙北市の固有の状況からSDGsを活用した課題解決策の提案を期待したい。 ・水素の活用というモデル事業の提案については実証実験の実施に留まらず、国家戦略特区の試みを活かした産学クラスターの活性化や、農業と関連する6次産業化などの横断的な試みの検討が期待される。
7	山形県飯豊町	・農村計画研究所の再興を中心としたストーリーは魅力的であった。その一方で、再興のためには初代研究所が衰退した原因分析や「新しい価値」の具体生成が必要と考える。例えば、地域自律圏、自主活動（美しい村連合）等のコンセプトが活用できるのではないか。 ・提案においては、バイオマス活用エネルギー、イノベーション事業の具体的な独自性、先導性を示す必要性がある。 ・また、「米沢牛の生産の40%が飯豊町」といった地域特性も、地域の課題把握、解決策提案に織り込むとより良い提案となると考える。
8	茨城県つくば市	・学園都市であるつくば市には高いポテンシャルがあり、取組に強い期待をしている。 ・子どもの貧困問題は大変重要なテーマであり、貴重な提案であったが、食や地産地消を中心とした提案がSDGsの包括的な取組と如何につながるのかのストーリー説明が更に必要な印象であった。 ・今後は、新規性及び独自性の観点から、つくば市の特色を存分に活用する提案を期待したい。

No.	提案者名	講評案
9	神奈川県	・神奈川県の提案するSIB（ソーシャルインパクトボンド）という手法は、様々なSDGsの達成に繋がる可能性のある提案であることが評価される。今後は、当該提案が如何にSDGsの達成に繋がるかの明確な説明を期待するとともに、ヘルスケア、ニューフロンティアファンド、藤沢SST、多世代連携の相互の連関についても詳しい説明が必要と考える。 ・広域自治体である県として、フィールドのある藤沢市との連携、他市町とのSSD事業と連携等を期待したい。
10	神奈川県横浜市	・横浜市らしいビジネスをベースとした取組であることや、文化がテーマに含まれていることは独自性があり評価できる。SDGsデザインセンターをステークホルダー連携の中心に是非据えてほしい。 ・その一方で、デザインセンターによるファイナンスについては、実現可能な仕組みを検討してほしい。加えて、IoT、エネルギーについて技術開発だけでなく、自律的好循環の消費と近接する「横浜型」社会イノベーションモデルとして発信することを期待する。 ・KPIについては、GHGs、観光消費などマクロ指標だけでなく、取組進捗を測る指標等も期待したい。
11	神奈川県鎌倉市	・鎌倉市の特性を活かした多様な人材の連携による取組であり、地域社会資本の形成という提案は面白い視点である。提案における個別の取組を、SDGsの統合的な理念から全体的に構造化して可視化することを期待する。 ・古民家再生、食堂、リビングラボ等の公共性、公平性、受益負担配分をどのような仕組みで担保するかの検討が必要。中長期的なSDGs価値を政策に内生化するアクションプランの検討を期待する。 ・また、県内でSDGsに取り組む自治体との連携ができると、より広い視点が持てるものと考える。
12	富山県富山市	・富山市の中心政策であるコンパクトシティの取組に加えて、新規性の高い中山間地でのモデルを検討していることは評価できる。SDGsの推進に向けて、SDGsを中心としたビジョンを更に明確化することが望まれる。 ・モデル事業の提案については、取組がやや分散的に提案されており、SDGsの統合的な理念を反映した地域交通、地域エネルギー、ヘルスケアを統合化して市民の暮らしやすさ、満足度を高める政策に昇華するための検討を期待する。 ・また、国際的な発信として、富山市とOECDの構築された関係も活用可能と考えられることから、活用を検討してはどうか。
13	石川県珠洲市	・実績を踏まえたSDGsラボの提案は計画の実効性が期待できるものであった。その一方で、SDGsの達成に向けて、SDGsラボの位置づけをより明確に説明していただくことが重要と考える。 ・SDGsラボにおいては、経済界との接点やビジネスの視点を更に取り込むとともに、地域循環共生圏の具体的な産業、農林業、基盤づくり、社会資本等の具体的な取組についても検討してほしい。
14	石川県白山市	・女性（ジェンダー）活躍の視点は着眼点に独自性があり、優れたものであった。少子高齢化の日本においては、女性、高齢者、障害者、介護者等、全員が活躍できる環境が必要である。 ・その一方で、女性の活躍を中心に置いているものの、具体的な制度設計が練られていない印象である。女性活躍に取り組むのであれば、家庭、子育て、地域の中で多忙を極める女性に対して、骨太の育成計画を責任を持って構築してほしい。 ・白山市の取組については、大学、企業との連携に期待が持てるが、市役所の更なる積極的な関与を期待する。
15	長野県	・エネルギーを中心としたモデル事業の提案は、実効性が期待できるものであった。その一方で、SDGsの統合的取組の象徴として、当該モデル事業を位置づけるためには、より説得力のあるストーリーによる説明を期待したい。 ・個別の地域エネルギー事業を他省庁事業で進めつつ、その総合的な調整、事業化、エネルギー展開をSDGs事業で進めることの理念はわかりやすいが、更に、イノベーションキュレーター塾や教育等、社会・経済の取組も強調するとともに、広域自治体の機能である基礎自治体との連携を示してほしい。
16	静岡県静岡市	・SDGsの考え方をよく理解した提案であり、説明内容が明快であった。 ・モデル事業に関しては、実証レベルに至るまでに時間がかかるものと予想される。また、水素というグローバルな取組については、他の関係者と連携しながら進めていくことが必要であるとともに、水素貯蔵体、水素生成リアクター等の実用化推進のプロセスを具体的に検討することを期待する。

No.	提案者名	講評案
17	静岡県浜松市	・浜松市の提案書は課題や目標がよく整理されたものであり、多様なゴール設定の元、複数事業の展開が記載されていること、浜松市の特色としての多文化共生が盛り込まれていることが評価される。 ・モデル事業については、産業政策の側面が強く、SDGsを活用する具体的な意義や社会面における市民の参画方法についてより明確に説明することが必要である。 ・また、他地域における先行モデルを踏まえ新規性の観点及び事業構築性についても一層明確にすることを期待したい。
18	愛知県豊田市	・豊田市の製造業基盤を踏まえた「実証フィールドを提供する」という点を前面に出すことでより興味深い提案になることが期待される。 ・モデル事業については、SDGs概念の理解普及が実社会の課題解決にいかにつながるかという関連をより明示的に示すとともに、人材育成の先のプロセスについても具体化が必要と考える。普及啓発の座学に留まらず、SDGsの統合的な理念を盛り込んだ具体的な事業を行うことが先駆的なモデルの形成に繋がるものと期待している。
19	三重県志摩市	・食の視点は独自性があり、漁業者と観光業者の連携や高齢者の活躍促進などの着眼点は評価される。その一方で、現時点の提案においてはSDGsの達成に向けた取組との関連性を一層明確にすることが必要である。 ・伊勢エビを中心にした持続可能な漁業は既に確立されたものであり、既存プロジェクトの普及啓発単体に取り組むのではなく、食文化、藻場再生などこれまでの取組が幅広い社会、経済面へ波及する検討を期待したい。 ・志摩市が持続可能な食の認証といった制度構築の拠点となることを期待する。
20	大阪府堺市	・ニュータウン再生というテーマは、SDGsの統合的理念を大いに活用できる分野であると考える。その一方で、水素及び次世代モビリティを中心とした今回の提案がニュータウンの再生という課題をいかに解決しうるかを明瞭にする必要がある。 ・ニュータウンの再生は堺市にとって大きな課題であり、真剣さを感じることができた。今後は、産業との連携、自立地域エネルギーを進める事業の取組の構想を具体的に展開してほしい。
21	奈良県十津川村	・提案としてよくまとまっており、広域な森林を少人数で管理するモデルとなること、十津川HOLTZを核とする分野横断的な活動推進・検討が期待される。 ・その一方で、林業の取組が具体化しているのであれば提案に具体的に位置付けるとともに、村全体の魅力向上等をマイナス面の減少というアプローチからでなく、プラス面の創出という観点からも検討すると良いのではないか。また、十津川村における提案の実行体制についても明確に説明してほしい。
22	岡山県岡山市	・岡山市の提案は健康を中心としたよくまとまった提案であり、データを元にした施策立案の姿勢は評価できる。目標設定、公表、効果検証がうまく出せれば、SDGs実施へ向けたモデルとなるように考える。 ・その一方で、環境面の取組がESDに限定することは視点が狭くなってしまうことから、より幅広い取組を盛り込んでいただくとともに、提案全体として、より具体的な事業を盛り込んだものなることを期待する。
23	岡山県真庭市	・バイオマスが経済的にまわっている点は印象的であり、その効果が社会活力につながることや、周辺自治体との連携も期待される。真庭市のモデルは、安定自律的社会モデルの観点からも普及できるのではないかと考える。 ・今後に向け、SDGsの観点から三側面の統合を踏まえた、より詳細な事業設計を検討してほしい。
24	広島県	・平和構築人材やNGO等、広島の特性を活かしたパートナーシップを基に、日本全体、グローバルにネットワークつくっていくことが期待される。 ・モデル事業の観点からは平和のプラットフォームは、高度に展開が計画されているが、SDGsビジネスモデルと平和の関連性や、その発展がいかに社会及び環境との相乗効果を生むのかについて、具体的な構想の展開を期待したい。

No.	提案者名	講評案
25	山口県宇部市	・宇部市の提案する人材づくりの3つの取組は意欲的な提案であった。SDGsモデル事業の提案という観点からは、SDGsの達成に向けた取組との関連性の明示や、3つの取組が貫く機能、テーマ、人材、場、知のプラットフォーム等を検討してほしい。 ・宇部方式の再生は重要な観点であり、宇部の具体的な課題解決又はビジョン構築に焦点を当てた提案とし、人材育成についても、気づき、未然防止人材に焦点を当てるなど、地域の特性を活かした提案となることを期待している。
26	徳島県上勝町	・上勝町のこれまでの取組は、SDGsの理念と一致するものであり、SDGsの実践として展開することができるものと考える。 ・その一方で、SDGsの概念に対する理解をより深め、町内の体制及び計画を整えるなど、今後の発展に期待したい。また、モデル事業をより具体的に、SDGsの達成に向けた位置づけとともに明確にすることを期待する。
27	福岡県北九州市	・これまで進めてきた環境と経済の取組は、国際的にも評価されている。それらの実績を活かし、さらに社会面などの視点も加え、包括的に、横断的に取り組むとともに、市民の取組、意識への展開を大きく期待している。 ・また、環境関係ビジネス構想について、一層の拡大を望むとともに、自治体と企業の連携のモデル構築を期待したい。
28	長崎県壱岐市	・市長のコミットメントが強いことが印象的であり、全庁的な議論が踏まえた提案であることが覗えた。民間企業との連携の実現可能性も考慮されているが、離島という市のアドバンテージを活かす工夫があれば、より興味深い提案となると考える。 ・モデル事業に関しては、目標からのバックキャスト、連関、測定といったSDGsの基本的要素を一層意識してプロジェクトを設計することが望ましい。
29	熊本県小国町	・地域資源である地熱やバイオマスを活用するとともに、拠点作りを基盤とした総合的な提案であることは評価できる。 ・地域資源を通じたSDGsの普及啓発を進めるとともに、地熱、林業を活用展開する地域コミュニティビジネスの活用を総合的に進めることを期待する。

※都道府県・市区町村コード順